

# 白磯地区山柄で60年に1度の

## 庚申祭



60年後の移動を待つ庚申塔

今年は十千十二支  
でいうと、六十年毎  
にめぐってくる庚申  
(かのえさる又はこ  
うしん)の年に当た  
ります。

白磯地区山柄では、  
この庚申の年に庚申  
塔を移動して祭りを  
開くことになってお  
り、今年は十月十一  
日に大正九年以来六  
十年ぶりの庚申祭が  
盛大に行われました。



にぎやかな行列

庚申塔は祭りのたびに海岸へ向  
かって六十二間(約一一二m)  
下げられることになっており、  
今まで鈴木孝二郎さん宅の敷地  
内に鎮座してきましたが、今後  
六十年間は六十二間下った浜の  
砂防林の中にもつられることにな  
りました。

祭りは、不動院から庚申塔ま  
での間を僧侶や稚児、囃子方  
の行列がねり歩き、不動院では華  
やかな宴が張られ、たいへんに  
ぎやかでした。

### 東陽病院に新しい外科医が!

組合立東陽病院では、今まで  
外科診療に当たっていた小川正憲  
先生が都合で千葉大学へ帰り、  
新たに上村重明先生が外科診療  
を担当することになりました。



上村 重明(うへむら・しげあき)

よろしくお願いします。  
なお、診療は月曜日から土曜  
日までですが、火曜日は先生が  
研究のため千葉大に出向のため、  
休診となります。お間違えのな  
いように。

昭和二十三年一月十二日生  
千葉大医学部卒・松戸市立病院  
・千葉市立病院を経て現在に至る。

### こんにちは……関子ども会

今回は、関子ども会育成会  
長、市原文夫さんから寄稿い  
ただきましたのでご紹介いた  
します。

◎関子ども会 市原 文夫

光陰が矢の如く流れていく  
私達の人生の中で、まず自分  
の仕事に忠実に、そして余暇  
を活用し明るい社会づくりに  
努力することは、社会人とし  
て当然の義務だろう、という  
生意気な考えで、スポーツ好  
きで、子ども好きな私は地域  
の子ども達に目を向け、同志  
と相談の結果、関子ども会の  
発足となりました。

冬は元旦マラソン、耐寒マ

今回は、関子ども会育成会  
長、市原文夫さんから寄稿い  
ただきましたのでご紹介いた  
します。

◎関子ども会 市原 文夫

光陰が矢の如く流れていく  
私達の人生の中で、まず自分  
の仕事に忠実に、そして余暇  
を活用し明るい社会づくりに  
努力することは、社会人とし  
て当然の義務だろう、という  
生意気な考えで、スポーツ好  
きで、子ども好きな私は地域  
の子ども達に目を向け、同志  
と相談の結果、関子ども会の  
発足となりました。

子ども達に夢と希望を抱かせ

### 無料税務相談会開催

日時 十一月十三日午前  
十時から午後四時  
まで。

場所 光町商工会館。  
講師 税理士、市原貞夫  
先生。  
記帳、決算について何  
でも相談に応じます。

光町商工会

思い出を多くつくってやること  
は子ども達の将来の情操教育上  
最も必要であり、指導者もその  
成長ぶりを見て喜ぶ例も数多く  
ある。

一例を挙げれば、八年前に小  
学生で卓球を青年館で習い始め  
た某君は、今では高校生となり  
関東選手権に出場する程の腕前  
となり、その飛躍ぶりに喜びと  
やり甲斐を感じる。

この関子ども会の活動が隣接  
部落の子ども達にうらやましが  
られることも見聞するが、どう  
か各地域毎に協力して子ども会  
育成に協力されることを望んで  
やみません。